



令和3年7月20日

担当課	警防課 和歌山城整備企画課
担当者	北野 本田
電話	(073)428-0119 (073)435-1044
内線	8360 3830

令和3年度第1回ロープ高所作業訓練の実施について

1 目的

歴史を物語る和歌山城の魅力を和歌山市に訪れる人、住む人が実感できるよう石垣等の清掃作業を兼ねたロープ高所作業訓練を実施し、高所における作業技術の確認や高度な安全管理体制を構築することを目的とします。

2 日時

令和3年7月27日（火）9時00分から12時00分まで
[予備日] 同年7月29日（木）同時刻

3 場所

和歌山城お堀（石垣）

4 参加者数

消防職員約70名

5 集合場所

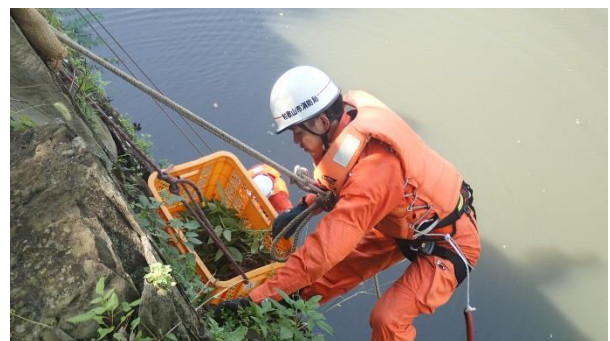
和歌山城 二の丸庭園



6 備考

訓練は、「熱中症対策」と「コロナ感染対策」を両立させながら実施します。

詳しくは、添付の「令和3年度の熱中症予防行動リーフレット（環境省、厚生労働省作成）」をご参照ください。



熱中症予防 × コロナ感染防止で 「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

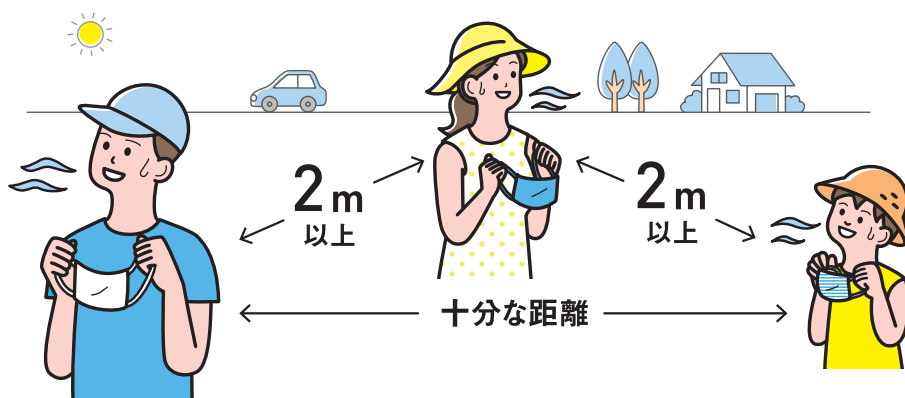
注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。



熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

ウイルス
感染対策は
忘れずに!



屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

マスクをしてると
熱中症になりそう...

..... (マスク着用時は)



激しい運動は避けましょう

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう



気温・湿度が高い時は

特に注意しましょう



暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

のどが渇いていなくても こまめに水分補給をしましょう

・1日あたり
1.2L(1.2リットル)を目安に

1時間ごとに コップ1杯 入浴前後や起床後も
まず水分補給を

ペットボトル 500mL 2.5本 コップ約6杯

・大量に汗をかいた時は**塩分**も忘れずに

エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど**2か所**を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度を**こまめに再設定**

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)
- ・毎朝など、**定時の体温測定**と**健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**

水分補給は忘れずに!

知っておきたい 熱中症に関する大切なこと

**熱中症警戒アラート発表時は
熱中症予防行動の徹底を!**

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別／熱中症死亡者の割合

15歳～44歳	2.3%	5歳～14歳	0.0%
45歳～64歳	15.6%	0歳～4歳	0.2%
65歳～79歳	32.4%	不詳	0.2%
80歳以上	49.3%		

出典：「熱中症による死亡数 人口動態統計2019年」厚生労働省

**熱中症による死亡者の
約8割が高齢者**

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別／熱中症患者の発生割合

年齢	発生場所	割合
65歳以上	屋内	約80%
	自宅	約70%
40～64歳	作業中	約60%
	公共施設	約10%
19～39歳	学校	約50%
	運動中	約10%
7～18歳	学校	約50%
0～6歳	自宅	約50%

出典：「救急搬送データから見る熱中症患者の増加」国立環境研究所 2009年

**高齢者の熱中症は
半数以上が自宅で発生**

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。